

2024.
4

いい天気。
予定のない一日。
今日はどこへ出かけようか

ぼくらの秘密旅

ヒミツタビ

富大生が
学生へ向けて作ったフリーペーパー。

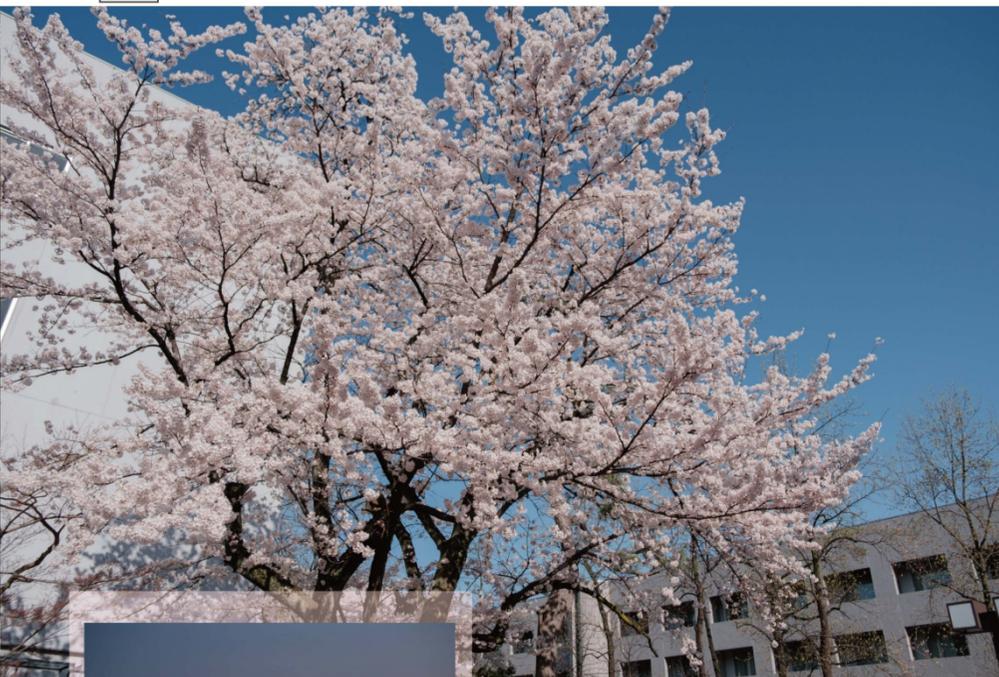
春号



富山出身者ゼロ!?
とやま広報部って一体?
路面電車にJR、路線バスまで!
富山大学から富山駅へのアクセス
富山で一人暮らしってどんな感じ!?
編入生の一年

君に伝えたい、富山のいいところ。





種類豊富で便利!
富山駅までのアクセス

No.01 市内電車 tram

時間 約15分(富山大学前→富山駅)
本数 7-8分に1本
料金 ¥210(¥180)

市内電車は本数が多く、時刻表を見なくても乗れる点で便利。また、どこまで乗っても一乗車210円な点も嬉しい。さらに富山大学の学生証にも付属しているICカード「えこまいか」を利用することで一乗車180円になる。様々な行き先の電車がやってくるが、富山大学前を出発する電車は全て富山駅を経由する。富山駅に行きたい場合は来た電車で乗れば良い。なお、運賃は後払い。現金、交通系ICカード、えこまいかを使用して運賃を支払うことができる。

No.02 地鉄バス bus

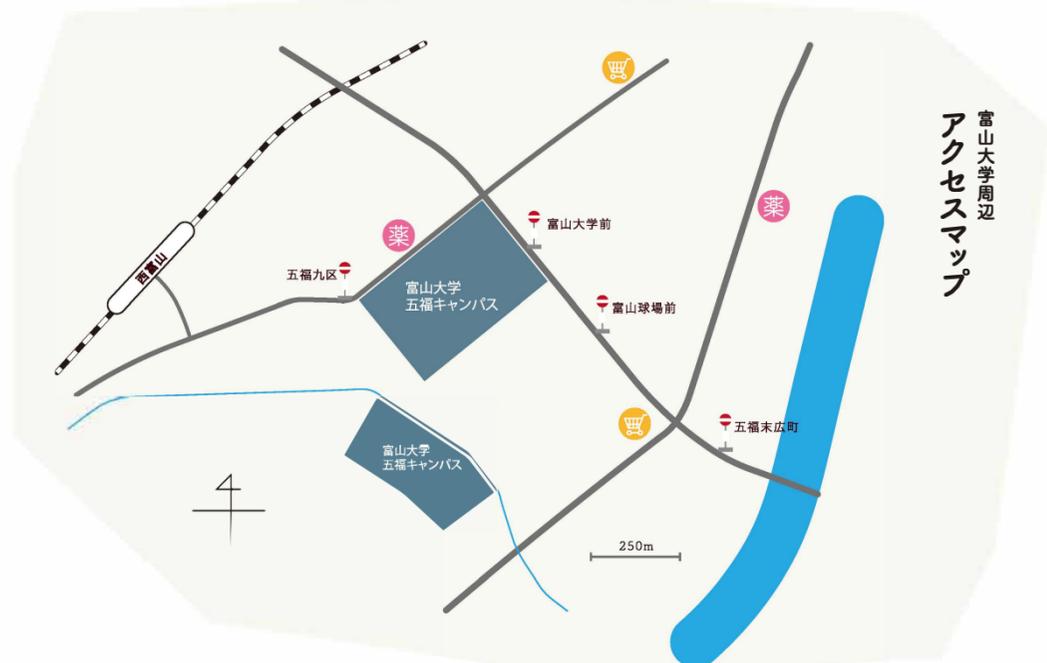
時間 約10分(富山大学前→富山駅前)
本数 だいたい20分に1本以上(平日)
料金 ¥240(¥220)

バスは富山大学正門のすぐ近くに「富山大学前」バス停がある点で便利。本数は比較的多いが、やってくる間隔は様々。ICカード「えこまいか」を利用することで一乗車220円になる。なお、運賃は後払い。乗車時には整理券を受け取るか、えこまいかをタッチする。降車時に現金、えこまいかを使用して運賃を支払うことができる。

No.03 高山本線 train

時間 約6分(西富山→富山)
本数 だいたい60分に1本
料金 ¥190

JR高山本線は富山駅までの所要時間が短い点で便利。西富山駅は富山大学の正門からは少し離れているが、場所によってはかなり便利。列車の本数はあまり多くないが、所要時間が短く運賃も比較的安価であることから時刻表をよく確かめて利用してみたい。駅には券売機が設置されており、現金を使用して運賃を支払うことができる。



とやま広報部ってなんなの?
わたしたちについて

← ABOUT US

とやま広報部って?

「まち歩き×写真」で富山で暮らすことの魅力を発見する富山大学の公認団体(サークル)。月に一回程度のまち歩きを通して、学生自身が富山で暮らすことの楽しさ・面白さを発見し、学生目線で伝えていくことを目標として活動しています。

現在は十人前後で活動しており、各種SNSやブログ、現在ご覧頂いている情報誌など、様々な媒体を活用して魅力を伝える活動を行なっています。

とやまビギナーの皆さんへ

私たちは、約2年間の活動で、SNSやweb記事を利用して広報活動を行ってきました。

「学生に、もっととやまを知ってほしい!笑」"とやまビギナー"の皆さんに向けて、富大周辺のおすすめや、富山暮らしについて、同じ立場からまとめました。

また、SNSやweb記事にて広報部員選りすぐりのスポットたちを「富大生の目線」でレポートしています!

2024年はどんなことするん?

今までの活動をベースに「まち歩き」と「写真撮影」を行い、富山の魅力を再発見・発信します。その成果を、SNSやHPでのweb記事、冊子づくりなどをやっていけたらいいなあって。

さらに例年実施している、10月末の富山大学の学祭「富大祭」への出展も行います!個人的には、昨年焼けなかった後悔があるので、そのリベンジでフランクフルト焼きたいなあ...

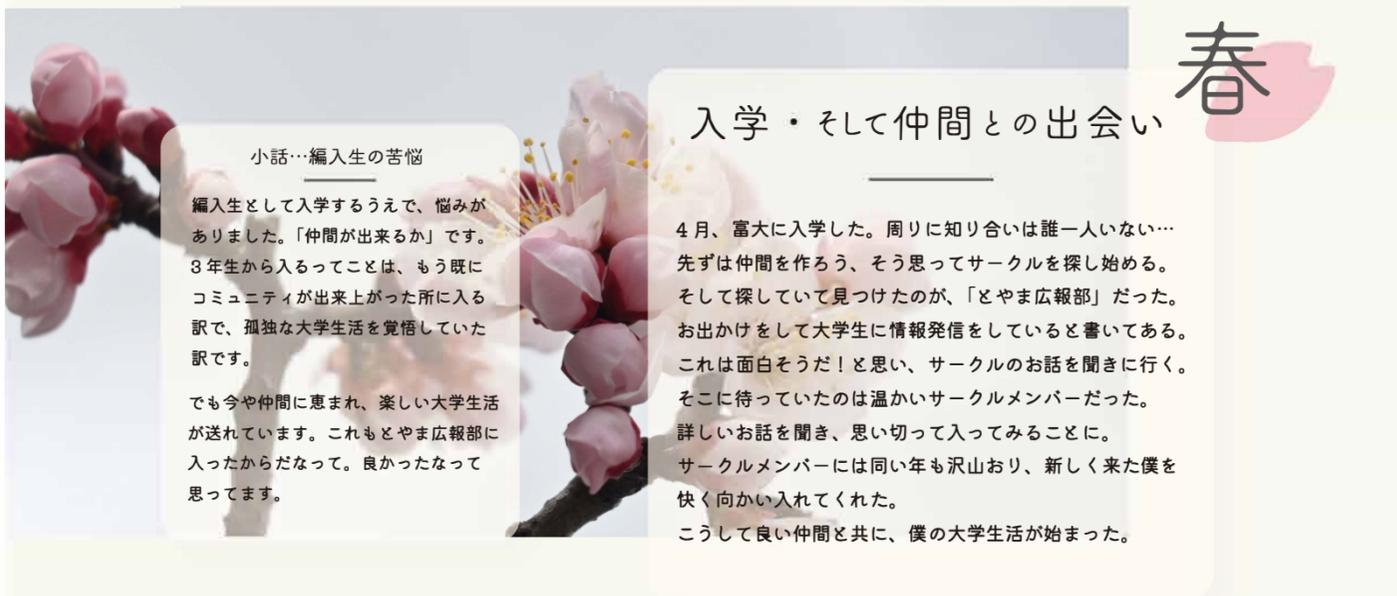


いろいろやってみた SNS とか

昨年は SNS や HP に挑戦しました。しかし、なかなか学生にアプローチできず、、、そこで、紙媒体にしてみよう!ということでこの冊子が完成しました。

今年からは、冊子とHP、SNSの3種類で頑張ります!下にHPのQRコードをのせております!良ければご覧ください~





春

入学・そして仲間との出会い

小話…編入生の苦悩

編入生として入学するうえで、悩みがありました。「仲間が出来るか」です。3年生から入るってことは、もう既にコミュニティが出来上がった所に入る訳で、孤独な大学生活を覚悟していた訳です。

でも今や仲間に恵まれ、楽しい大学生活が送れています。これもとやま広報部に入ったからだって。良かったなって思っています。

4月、富大に入学した。周りに知り合いは誰一人いない…まずは仲間を作ろう、そう思ってサークルを探し始める。そして探していて見つけたのが、「とやま広報部」だった。お出掛けをして大学生に情報発信をしていると書いてある。これは面白そうだ!と思い、サークルのお話を聞きに行く。そこに待っていたのは温かいサークルメンバーだった。詳しいお話を聞き、思い切って入ってみることに。サークルメンバーには同い年も沢山おり、新しく来た僕を快く向かい入れてくれた。こうして良い仲間と共に、僕の大学生活が始まった。

夏

仲間とまち歩きの日々

夏になると、サークルのみんなと段々と仲が深まってきた。みんなと電車に乗ってお出掛けに行くことが増えた。お目当ては「景色」と「美味しいグルメ」!

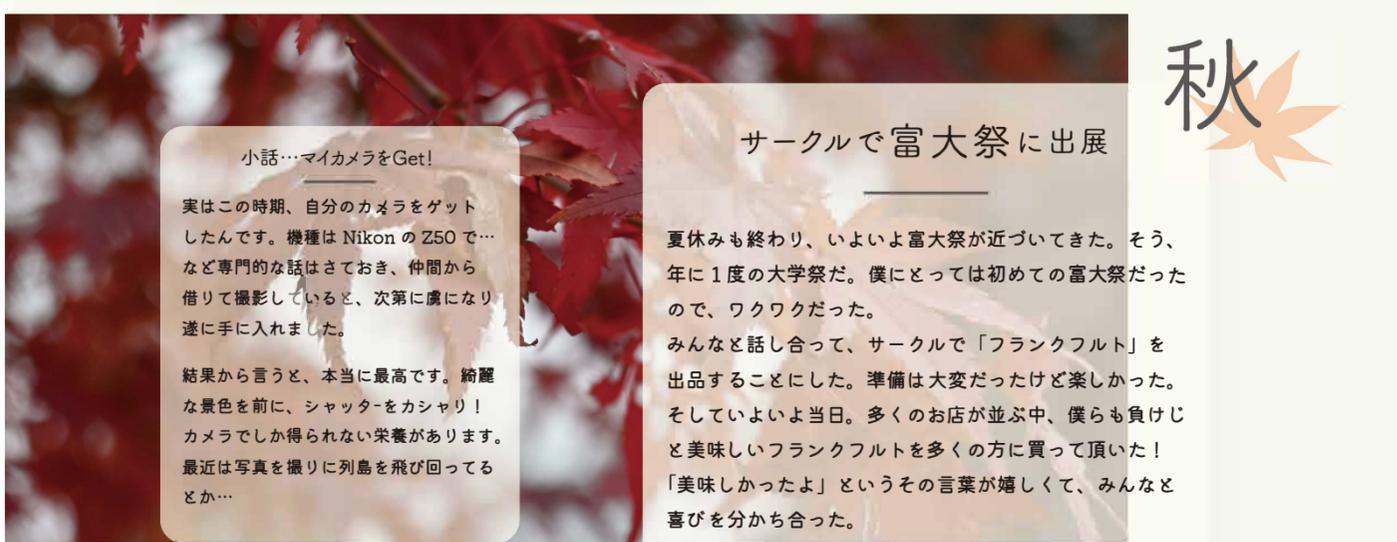
サークルのみんなは、きれいな景色と沢山の美味しいお店を僕に教えてくれた。特に思い出深いのが、6月に行った新湊へのお出掛けだ。美味しい海鮮丼を食べて、きれいな海辺でみんなでジュースを飲んだ。景色が綺麗だったので写真も沢山撮った。

そんな楽しい日々を過ごしつつ、仲間と過ごす毎日が充実した楽しいものになっていった。

小話…新湊での対決

新湊は、大きい港があります。対岸から対岸へ移動するのは、新湊大橋という大きな橋を渡るか、船に乗って対岸へ行くかの2つがあります。僕は、どうせ渡るなら面白いことをしたいと、新湊大橋を徒歩で歩く組と船に乗る組の2つで早さを対決することに。僕は徒歩組でした。

結果は…何と徒歩組の勝ち!1つの場所でもこんなに楽しめたのでした。



秋

サークルで富大祭に出展

小話…マイカメラをGet!

実はこの時期、自分のカメラをゲットしたんです。機種はNikonのZ50で…など専門的な話はさておき、仲間から借りて撮影していると、次第に虜になり遂に手に入れました。

結果から言うと、本当に最高です。綺麗な景色を前に、シャッターをカチャリ!カメラでしか得られない栄養があります。最近は写真を撮りに列島を飛び回っていると…

夏休みも終わり、いよいよ富大祭が近づいてきた。そう、年に1度の大学祭だ。僕にとっては初めての富大祭だったので、ワクワクだった。

みんなと話し合っ、サークルで「フランクフルト」を出品することにした。準備は大変だったけど楽しかった。そしていよいよ当日。多くのお店が並ぶ中、僕らも負けじと美味しいフランクフルトを多くの方に買って頂いた!「美味しかったよ」というその言葉が嬉しくて、みんなと喜びを分かち合った。

サークルに入って良かった、そう思える瞬間だった。



雨晴海岸にて、海を眺めるゆーまっと(とやま広報部のメンバーが撮影)

自己紹介



あだ名：ゆーまっと
 所属：都市デザイン学部 / 都市・交通デザイン学科 / 4年
 出身：新潟県
 趣味：電車でお出掛け / ドライブ / 写真を撮る

YOUはなぜ富大へ?

結論からいうと、「まちづくり」を学びたかったからです。小学校のとき、学校から「地図帳」というものが配られ、そこから地図のとりこになりました。その熱はいつになっても消えることなく、ずっと地図を見ていました。どれくらい取りつかれていたかという、中学校の朝の読書で一人だけ地図を読み、先生から注意されても尚読み続けたくらいに夢中でした。

そんな中学時代も終わり、進路選択で高専の「環境都市工学科」という学科に進学しました。そこで学んだのは主に土木。難しいながらも楽しかったですが、僕はもっとまちづくりを学びたい。そう思って調べているときに見つけたのが、富山大学の「都市デザイン学部」。これは運命だと思い、思い切って入学して今に至るという訳です。

「編入生」って?

編入生とは、他学校から「途中年次に入学」する学生を指します。他の学校を卒業し、1年生としてではなく3年生として入学する人をそう呼びます。

僕ゆーまっとも、昨年春に高専から来た編入生。学年は4年、でも富大歴は1年です。

「3年生から入って、単位とかどうなるんだろう…?」と思ったそこのあなた。1,2年生の講義の多くは前の学校で受けた授業と大学の科目を照らし合わせて、単位が与えられるのです。僕も高専時代に受けた授業が、大学で単位として認定されました。

- ゆーまっとのSNSはコチラ -



X(旧 Twitter) Instagram

銭湯でお湯に浸かろう

「銭湯に来てみませんか？」

初めての一人暮らし。自分の為だけに湯船にお湯を張るのはもったいない、と感じる人も多いのではないだろうか。

富山市内には街の銭湯がたくさん。残念ながら五福周辺にはありませんが、市内電車で一本で行くことのできる場所にはいくつもの銭湯があります。

今回は富山大学前電停から市内電車で一本、粟島駅から徒歩5分のところにある立山鉱泉を紹介！



1 お支払い

まずは受付カウンター(番台)で入浴料金の支払い。
立山鉱泉ではPayPayも利用可能です。

2 脱衣所

荷物や脱いだ衣服はロッカーやカゴに。貴重品は番台に預けることも。
下着や水着をきまま入ることはできません。

3 掛け湯

掛け湯は銭湯を堪能するための大事な基本。まずは掛け湯をして、汗や汚れを落としましょう。掛け湯をすることでお湯の温度に体を慣らすこともできます。

4 お湯へ

熱めのお湯は5-10分、ぬるいお湯は20分ほど浸かるのが目安。湯船にタオルを浸けるのはマナー違反なので気をつけましょう。ちなみに立山鉱泉の湯温は42.5度ほど。

5 上がる

脱衣所の床を濡らさないよう、体をタオルでよく拭いてから脱衣所に戻りましょう。上がった後水分補給も忘れずに！

立山鉱泉のここが良い!!

立山鉱泉は銭湯初めての人も優しい銭湯! 綺麗なカウンター、魅力的なサウナや水風呂、湯上がりに休憩できる広い脱衣所など、... スタッフ一同お待ちしております!ぜひお越しください!

#カウンターが綺麗 #サウナ #水風呂

入浴料: ¥470(高校生以上)

立山鉱泉 〒930-0801 富山市中島3丁目8-33



「fil」から「まち」の出会い・賑わいが生まれる

「fil」は、古いビルをリノベーションしたシェアハウス・食堂、隣接して新築したコインランドリーと緑豊かな庭園で構成されています。居住空間をシェアするだけでなく、地域や店主、企業の方など様々な方と積極的に関わり、暮らしや価値観などもシェアしながら生活できる場所です。

入居学生は、近隣店主が開催する料理教室などに参加し、filメイトや地域との関わりを深めたり(左上写真)、学部や学校が違う学生同士も含めて開催する、まちなか文化祭を企画したり(右下写真)、シェアハウスに住んだからこそ出会えた仲間達と楽しみながら過ごしています。1階の食堂は、学生だけでなく近隣住民や会社員・旅行者の方など様々な方で賑わっています。平日には朝ごはんを食べる時間がなかった学生に嬉しい「おにぎり弁当(500円)」も販売中です。

filに住んでいてもいなくても...!人と関わることが好きな人、何かを実現したい人、まちでの出会いが好きな人... みんなの出会いの場に。是非、気軽に fil に遊びにきてください!



Follow me

fil_toyama

fil_yokudo

問合せ先: 株式会社富山市民プラザ / 076-464-3936



まちなか学生シェアハウス

fil



Let's enjoy!!
旅せよ! 富山!

富山には歩いて楽しいまちがたくさん。
市内電車でまちなかを散策するもよし。
少し足を伸ばして新湊、八尾などに出かけるもよし。
あなたのお気に入りのまちを見つけに行こう!

AMAZING TOYAMA

越中八尾駅

越中八尾駅は富山市八尾町にあるJR高山本線の駅。大学近くにある西富山駅からは約20分、240円。

毎年9月に開催されるおわら風の盆で有名なこのまちは、昔ながらの町並みが健在。まちを歩けば飲食店や喫茶店、駄菓子屋さんなど、どこか懐かしさを感じることができます。

自動車王国とやま

「富山県民は、自動車を一家に一台、いや一人一台持つている」こんな話を聞いた事はないだろうか? いやいや、嘘だろ、と思う過去もあったが、現実はそのとおりだった。県外出身の大学生にとって、今までは全く異なる日常かもしれない。しかし、恐れることはない。自家用車がなくても、公共交通があるじゃないか。そう、どこかだっただけで行ける、どこかでも行けるのだ。本誌は学生に、おでかけの新たな切り口を伝えられれば幸いである。

まち歩きのスズメ

まちを知れば、もつとまちが好きになる。もつとまちを楽しめる。まち歩きはまちを知って、楽しむためにめっちゃおすすめ! ぷらつとまち歩いて、めっちゃ雰囲気良い喫茶店とか! 本屋さんとか! 見つけたらテンション上がりませんか!? まち歩きって、ちょっと宝探しみたい。

実は鉄道王国の富山県。なんと全ての市町村に鉄道駅が存在。車が無いと生きていけへんみたいに言われる富山県やけど、電車とかだけで結構どこでも行けちゃいます!

とやま広報部は部員がぷらつとまちに出かけて行って、そこで見つけた美味しいもんとか、綺麗なもんとか、そんなのを「こんなの見つけた!」って伝える活動をしています。

まだまだ富山のことが知らなくて思った人は是非この機会にまち歩きに挑戦してみたいと思いませんか! ほんまおすすめ! そして、自分もまち歩きして見つけた魅力の人を人に伝えたい! と感じた人はぜひ私たちと一緒に活動しましょう!

Tips

富山にはお得なきっぷが充実。窓口での購入のほか、スマホの画面がチケットになるきっぷも。

中でもとやま周遊2dayパスは指定エリア内の鉄道、軌道線が2日間乗り放題で¥1520! 土日に富山を巡ってみようと思いついた際にはおすすめのきっぷです。





富山市×ANA連携プロモーション

CA、富山に帰るちゃ

富山市は平成26年度からANAと連携したシティプロモーションに取り組んでいます。その連携の一環として今年4月から富山市に赴任している「地域づくりマネージャー」の竹村さん(富山県出身)がウェブサイトで「CA、富山に帰るちゃ」で、富山市の魅力を発信しています。

現役のCA(客室乗務員)である竹村さんが感じる素敵などやまをエッセイ風につづっています。ぜひご覧ください。

竹村さんより

富山の人は「なんもないちゃ」と言いがちだとよく聞かれますが、私が生活の中で感じた富山市の良さをイベントやブログを通じて全国の皆さんに発信します！

富山市役所
企画管理部広報課
076-443-2018

▼竹村さんのnoteはこちらから！



食べてかれっ!! 富山の食

寿司職人さんの技を見学

この日訪れたのは富山市蓮町にあるシェアプレイス Airport。元々工務店の作業小屋であったものを改装したこの場所で漁とお寿司について教えて頂きました。水橋漁業組合さんからの映像を見た後、お寿司について教えてくださったのは富山市内の寿司店「寿司正」の大将。鮮やかな手つきで酢飯を作り、ふくらみを捌く職人技を見学しました。



機内食風アレンジメニュー

富山の食材を生かした午後には総曲輪にある青池学園さんでANAの総料理長である清水シェフのプロの技を実演いただきました。実際に富山の食材を使用した料理は素材の持つ甘みや食感などを上手く生かしたもののばかり。また、機内食としての提供を想定されていることから慎重な火入れが行われており、それに伴う味の変化に気を配られているお話などを伺うことができました。



空の玄関口 富山空港

富山駅からバスで約25分。

富山空港は全国唯一の河川敷にある空港です。日本各地へのアクセスの他、国際便も就航しており、海外への玄関口にもなっています。

発着する飛行機の飛行ルートは富山大学のすぐ近くで、運が良ければ飛行機を間近に見ることが出来ます。

皆さんも旅行の際には富山空港を使ってみるのはいかがでしょうか？



現役CA竹村さんの 学生時代

竹村さんは実は富山大学の出身。

在学時には人間発達科学部人間環境システム学科に在籍。宮城ゼミで方言の印象調査の研究をされていたそう。そんな竹村さんから学生時代の思い出や学生へのメッセージをいただきました。

・学生時代の思い出
「大学の語学研修プログラムに参加したこと。英語が好きだったので3年生の夏休みにチャールストンへ語学研修に行きました。1か月という短い期間でしたが、大学時代で一番充実した時間でした。そしてこの短期留学がきっかけで私はCAになりました。」

・学生へ向けて
「とにかく全力で学生生活を楽しんでください。サークルでも、バイトでも、趣味でも。
将来のきっかけはどこに転がってるかわかりませぬ！興味があることにはどんどんチャレンジしてみてください。」





おでかけはどんな感じ…?

電車に揺られ、車窓から見える景色を楽しみつつ目的地を目指します。着いた先では、ワイワイとまち巡りを楽しみ、地域の方とお話したりして沢山の思い出を作ります。

君も仲間にならないか?

新しいメンバー募集中!

とやま広報部では、新しい仲間を募集しております。

- ・まちめぐりをしてみたい
- ・新しい仲間を作りたい
- ・サークル活動に興味がある
- ・カメラに興味がある

等々:

少しでも興味がある方、お気軽にご連絡ください!



X (旧Twitter)



PR_TOYAMA

Instagram

とやま広報部の情報館

クセが強い?

とやま広報部のメンバー紹介

とやま広報部には、個性的なメンバーが沢山います。ここでは、そんなメンバーの一部を紹介しています。

りおな



理学部4年
出身：茨城
趣味：グルメ

代表

カメラ似合う系女子。アイコンは宇奈月温泉で撮った写真。場を和ませるスペシャリスト。青春18きっぷで一人で広島まで行く。フットワークの軽さも持っている。困ったときの確にアドバイスしてくれる。何か困った時は、りおな先輩に聞いてみよう。

とっしー



都市デザイン学部4年
出身：東京
趣味：バス

おでかけ担当

グルメとバスが大好きなお兄さん。過去には大学の委員長もしていた凄い人。色々なグルメを楽しむため、大盛り禁止条例を自ら発令。またバス路線にも詳しい。どのバスに乗ればいいのか分からないときはとっしー先輩に聞いてみよう。

ナベさん



都市デザイン学部4年
出身：兵庫
趣味：カメラ

副代表

みんなのカメラの先生。写真を撮らせたら右に出るものはいない。沢山のカメラやレンズを持っているとか。そしてカメラ以外にも料理やグルメ、面白い場所をたくさん知っている抜け目のない人。カメラ好きの人は、ナベ先輩に話しかけてみよう。

ゆーまっど



都市デザイン学部4年
出身：新潟
趣味：旅

おでかけ担当

メンバー唯一の編入生(詳しくは前ページ)。ドライブ好きだが富山に来て電車旅にハマる思い立ったらすぐにお出かけする旅好き。旅中に次の旅の行程を考えるとカラオケも大好きで週に2回は行っている。カラオケ好きの人は話しかけてみよう。

ちょい見せ!

とやま広報部の活動紹介

とやま広報部では、おでかけをして記事を書いています。記事が出来るまでの流れを、少し覗いてみましょう。

1 行先を決める

行きたいところをピックアップ!ワクワクしながらみんなで話し合う色々な場所が出て面白いよ!

2 おでかけ!

電車に揺られてみんなでおでかけ!綺麗な景色、美味しいグルメを堪能!名刺を作って、取材交渉もするよ!

3 振り返り

旅の思い出をみんなでお話。撮った写真もみんなで見返すよ。そして誰が何の記事を書くか決定!

4 記事完成!

思い出話を交えて記事作り!完成したらホームページにup!みんなに見て貰えますように!

名刺って?

メンバーがデザインしたオシャレな名刺をそれぞれ持っています!



顧問の先生!

塩見先生のご紹介



塩見一三男 先生

地域連携推進機構
地域連携戦略室 講師

出身：京都府
専門：地方計画、地域産業
趣味：アニメ、歴史、音楽鑑賞、サッカー観戦
好きなもの：エヴァンゲリオン、城跡巡り

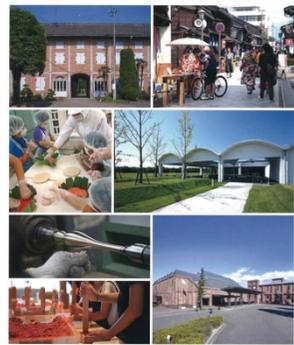
先生作の本をご紹介します!

私たちの住む地域の「産業」の概念や魅力を理解して、「観光資源としての有用性」等の理解へと繋げることの重要性について述べられています。そしてその地に住む人が、産業を理解することで、地方創生へと繋がります。

産業観光と地方創生

地域の生業の理解からはじまる地方創生

塩見 一三男・安嶋 是晴 編著



産業観光と地方創生:
地域の生業の理解からはじまる地方創生

編集後記

さて、本雑誌もこのページで終わります。ですが、いかがだったでしょうか?とやま広報部の活動、メンバーは勿論、知らなかった富山の新たな顔を知っていただきたっけにしなければと嬉しく思います。

とやま広報部は、富山大学生に向けて富山の魅力を発信するサークルです。大学生活は僅か4年、せっかく富山に来て生活するのなら、楽しんだもの勝ちだと思えます!

でもどこに行けばよいのか分からない車が無くても行ける所はないかなとお探しの皆さんに、僕らの情報をお届けできたなら、それが何よりの喜びです。

こんな感じで、ラフに・楽しく活動して参ります!

今後とも「とやま広報部」を、よろしくお願ひ致します!

謝辞

今回の雑誌制作にあたり、富山市広報課の皆様・富山市民プラザの皆様・そしてピームス商会の皆様には大変お世話になりました。

ここに、深く御礼を申し上げます。